

## 7. 仕事を任せるときの基準の二つになる

SEの仕事の根幹となるのは「技術力」です。コミュニケーション力や調整能力も重要ですが、技術力がとても大事なのです。若手に仕事を任せるとい場合は、調整力などを必要としない技術的な作業が多く含まれることでしょう。皆さんは、どのような基準でお願いしますか？

プロジェクトメンバー全員の力量がわかっている場合は問題ありません。でも、多くの場合はそうではありません。プロジェクトなんて、そのつどメンバーが集められ、初めて仕事をする人とチームを組むことがよくあるからです。よって、どれくらいの力量があるかは任せてみないとわかりません。

プロジェクトに入ると、納期が決まっていますから、忙しい毎日になります。業務によっては、いくつものサーバ構築やアプリケーションの設定を担当しなければなりません。ストレージやネットワークの構築、セキュリティや運用設計もあります。初めて見る機器だろうがアプリケーションだろうが、SEの経験と勘に頼って次々と設計して設定をしていく必要があります。

メンバーが多ければいいのですが、たいていは限られた人員です。よって、若手などにも仕事を割り振るのですが、できない人には任せられません。「検証環境用にシスコのスイッチの設定をしておいて」とお願いしても、「どうやって接続するのですか?」と聞き返されたら、「もういいよ」となってしまいます。手取り足取り教えるくらいだったら、自分でやったほうが速いからです。

そんな忙しい中、シスコのCCNAという資格を持っているSEがいたら、その人に任せてみよう

と思ってしまいます。本当にその人がシスコ製品の設定ができるかはわかりません。資格と実務は別だからです。それに、シスコの資格にはCCNPやCCIEなどの上位資格があり、CCNAはエントリー資格の位置づけです。でもそれで十分なのです。シスコ機器とPCを接続できて、基本的なコマンドやサブネットマスクの計算、ネットワークの基礎がわかっているだろう、という安心感があるからです。

私の場合は、資格を持っていること、「構築経験があります」という(やや虚言気味の)自己主張で仕事をもらってきました。サーバの構築なんて、資格の勉強をするときに自宅で行ったくらいの経験しかありません。でも、自分には知識や経験があると伝えないと仕事は回ってこないでしょう。そして経験を積まないと実力も付かず、悪循環に陥ります。仕事を任せてもらうチャンスがあれば、あとは本気でやればなんとでもなります。ネットで調べること、誰かに聞くこともできるからです。

私は、ネットワークスペシャリストやLPICの資格を持っていましたし、「DNSやメールサーバな構築経験があります」と自信たっぷりに言っていました(「自宅のサーバですけどね」という言葉は胸のうちにしまっておいて)。そうすると、「じゃあ、任せるか」と言ってくれるのです。

上司は私の力量には半信半疑だったことでしょう。でも、

資格を持っているという事実と、熱意があれば、けっこう仕事を任せてくれるものなのです。

### Point

資格を持っていれば、仕事を任せてもらえるチャンスが広がる

